

## 発刊のご挨拶

日本貸金業協会

会長 倉中 伸



このたび、令和3年度の協会活動についてご報告するとともに、関係資料及び公知情報などをお届けいたします。

令和3年度は、改正貸金業法の公布から15年の節目の年でありましたが、法改正から今日まで、協会員の皆様の法令等遵守に対する真摯なご努力や関係機関・団体のご協力などにより、貸金業界の健全化は着実に進展し、業界に対する社会からの信頼は大きく向上いたしました。

その一方で、長期化するコロナ禍による経済活動の低迷や急速な円安、欧州での紛争を要因とした物価上昇の影響など、景気の先行きに不透明感が強まっており、業界を取り巻く環境は大変厳しいものと認識しております。

大きな変化の中にある貸金業界ではありますが、本協会といたしましては、自主規制機関として、貸金業の適正な運営の確保と資金需要者等の利益の保護を図る取組みを的確に遂行するとともに、業界をめぐる諸課題の解決に向けた対応については関係機関と緊密に連携し、遺漏なく対処してまいります。

そのうえで、当協会の基本理念に謳われております「社会から信頼され安心して利用していただける新しい貸金市場をつくる」ことを展望し、これからの貸金業のあり方などについて検討を進めて参ります。

今回発刊する報告書をご高覧いただき、協会活動に対するご理解を深めていただければ幸いです。

今後とも、本協会に対するご支援とご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。